

5	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	15100006	神経可塑性及び脳の発生・分化におけるIP3受容体/Ca <sup>2+</sup> シグナリングの解析	御子柴 克彦(東京大学・医科学研究所・教授)	A+
<p>(意見等)</p> <p>細胞内Ca動員を生じるイノシトール三リン酸受容体Ca遊離チャンネル分子についての解析の一層の深化がなされている。</p> <p>①IP受容体に結合する新規タンパクの発見とそれらによる機能調節  ②IP3受容体の存在する小胞体のダイナミズムの発見  ③IP3受容体結晶構造解析による機能ドメイン解析  ④記憶や発生過程でのIP3受容体の役割</p> <p>などのIP3受容体について総合的研究が進められている。いずれの項目についても、教科書的知識を塗り替える発見がなされている。</p>				
6	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	15100007	発生と変性における細胞死による神経選択機構の分子遺伝学的基盤	三浦 正幸(東京大学・大学院薬学系研究科・教授)	B
<p>(意見等)</p> <p>マウス等の細胞の小胞体性細胞死のメカニズムについて成果が上がってきている。しかし、ポリグルタミンなどの成熟神経の変性細胞死についての研究と発生過程での選択的神経細胞死の研究がまだ別々で、統一されているとは思えない。今後ショウジョウバエの包括的遺伝子スクリーニングの中から、その両方にとって大事な分子が見い出される事を期待する。</p>				